

「ゴージャス女の子」

神辺小学校 1年 大畑 歩実



紙コップで、ゴージャスな女の子を作りました。かわいくするために、リボンにキラキラをつけました。おばあちゃんと一緒に作りました。帽子が難しかったです。思ったよりかわいくできたので、嬉しかったです。

「しんじシティ」

神辺小学校 1年 津組 槇士



段ボールと発泡スチロール、牛乳パック、フェルト、ペットボトルのふたを使って自分の街を作りました。みんなのびっくりする顔を想像して作りました。何日もかかりました。ボンドが乾くまで待つのが大変でした。1番気に入っているところは、全部です。

「ありロードのひみつをさぐれ！！」

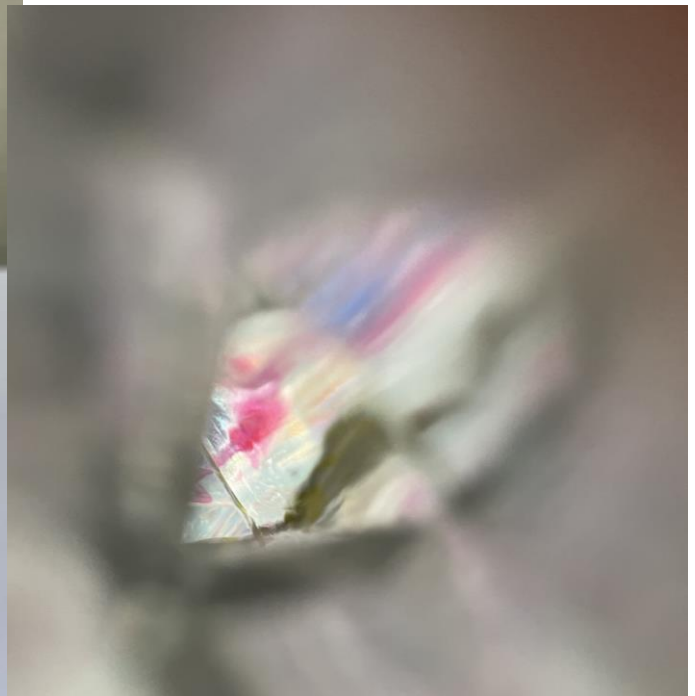
神辺小学校 1年 松山 駿瑚



苔の上で、『ありロード』を見つけました。調べてみると、「ハリブトシリアゲアリ」というアリであることが分かりました。『ありロード』がどこまで続いているのかや、巣穴はどこにあるのかについて、調べてみました。観察の結果、「ハリブトシリアゲアリ」は、梅の木に住んでいることや、モミジの樹液を運んでいることが分かりました。

「まんげきょう」

神辺小学校 1年 石塚 美央



ペットボトルとビーズを使って、万華鏡を作りました。硬い紙を切る
ところを頑張りました。気に入っているところは、ビーズの色や形をい
ろいろな種類にしたところです。作品ができたとき、覗いてみると、キ
ラキラしていて、とてもきれいでした。

「鳥の巣箱」

神辺小学校 2年 赤狩山 大輝



切った木を組み立てて、鳥の巣箱を作りました。どんな色の鳥の巣箱がいいか考えましたが、ぼくが好きな水色にしました。鳥が気にいってくれるといいなあ。

「素敵な傘」

神辺小学校 2年 金山 大希



たくさんの折り紙を折って傘を作りました。持つところは、ストローでつくりました。折り紙をたくさん切るのは、大変だったけれど、傘の模様がきれいにできたので嬉しかったです。

「昆虫標本」

神辺小学校 2年 小林 源



プラバンに昆虫を描いて、標本にしました。せみの羽を何本も細かく描くのが難しかったです。本物に見えたら嬉しいなあ。

「不思議なスライム」

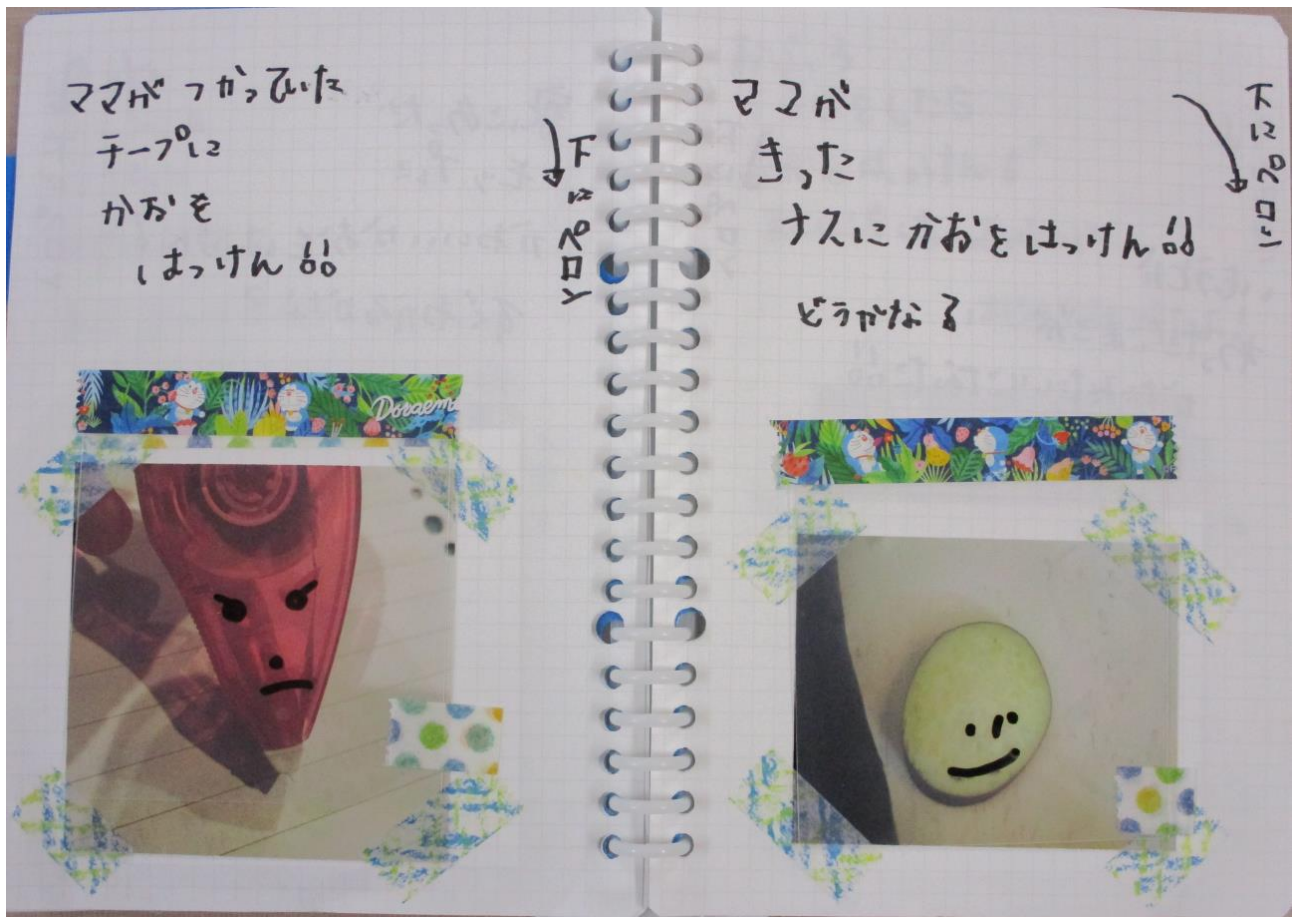
神辺小学校 2年 森原 桜我



スライムを作ってペットボトルに入れた後、もう一本のペットボトルをつなげました。ペットボトルに魚などのシールを作って貼りました。模様をひっくり返すと、スライムが落ちてきます。不思議なのは、外では、早くスライムが落ちますが、クーラーで冷えた部屋では、ゆっくり落ちてきます。落ちてくるスライムを見ているのが楽しいです。

「見かたをかえると」

神辺小学校 2年 森原 桜我



家にあるのをもよく見ると、顔に見えるものがたくさんあることに気がつきました。顔に見えたものを写真に撮って、上からファイルを貼って、顔を描きました。家族で顔を発見するのが、楽しかったです。

「ひまわり」

神辺小学校 2年 森原 桜我



紙テープと折り紙でひまわりを作りました。花びらを円くするところが難しかったです。可愛いひまわりができてうれしかったです。

「お菓子の箱でカブトムシ」

神辺小学校 2年 森原 桜我



お菓子の箱を使ってカブトムシを作りました。足を切るところが難しかったです。お菓子の箱で作るとおもしろい模様ができるのが、楽しかったです。

「うらないかんらん車」

神辺小学校 2年 日田 湊斗



いろいろなうらないが当たるかんらん車があるとおもしろそうだと思います。この作ひんをつくることに決めました。1番大へんだったところは、同じ形のきれいな丸の形を8つ作るところです。時間はかかったけれど、8等分にすることができてよかったです。学校にもってきて、友達とあそんだとき、「おもしろいね。」と言ってくれたのでうれしかったです。

「ムシがいっぱい」

神辺小学校 2年 三宅 正恭



こん虫が好きなので、虫とりのさくひんをつくりました。木のぼこぼこしたところを表すことが難しかったです。型紙をつかって、木のぼこぼこを表すという工夫をしました。

「パッチール」

神辺小学校 2年 藤原 理人



はことがよう紙をつかって、ビー玉めいろをつくりました。いろんな色をつかってカラフルなめいろにしあげました。つくるときに、1番むずかしかったところは、歯車はどうしたら回転するのか考えることです。学校で友達といっしょにあそぶことができ、楽しかったです。

「メタモンパン屋とピカチュウ」
神辺小学校 2年 松本 健吾



ぼくは、将来パン屋さんになりたいので、パン屋さんをつくりたいと思いました。パンやサンドイッチの形を本物に近づくように、よく見てつくりました。パンの具をつつむところが一番むずかしかったです。

「月のカラフル」

神辺小学校 2年 小川 惟月



兄弟みんなの名前に月が入っているので、プラネタリウムをイメージしてつくりました。パックの周りには、朝顔の色染めをしたときと同じように、カラフルに染めた紙を貼りました。牛乳パックの周りの紙をはがすのが、一番難しかったです。

「アオスジアゲハの観察」



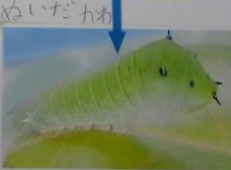





神辺小学校 3年 松山 龍法

アオスジアゲハ
のかんさつ

3-2 松山 龍法

きかん 5月20日～7月13日

学校のくすの木に
ちょうのよう虫とたまご
をみつけたつれてかえろ
てしらべると
「アオスジアゲハ」
だったぞでみた



① たまご
くすの木の新芽に
うみつけれれている。

② 1れいほう虫
黒いも虫みたい。
ものはえた黄色いのが
ある。

③ 2れいほう虫
緑色になった。
小さい黒いのが
ある。

だまがたばかりはつのかどうかい

④ 3れいほう虫
つのが黒くなりしか
りしてきた。
大きくなってくる

- 1 -

- 2 -

学校のくすの木で見つけた幼虫とたまごをつれてかえり調べてみるとアオスジアゲハでした。育ててみるといろいろな発見があり面白かったです。逃がしてあげるときは「戻ってきてね」と呼びかけました。

「カラフル時計」

神辺小学校 3年 藤岡 ありさ



トレーに穴を空けて時計のパーツを取り付けました。全体がカラフルに見えるように小物のパーツの場所を置いてみながら、バランスよくなるように考えて貼り付けました。パーツを3つまとめて貼るところが難しく苦労しました。

「きいのかるた」

神辺小学校 3年 青山 稀泉



自分の好きなものや、身の周りのことなどを絵と言葉で画用紙に書き、かるたを作りました。このかるたをすることで、みんなが楽しい気持ちになってほしいなという思いをこめて作りました。

「ふうせんわに車」

神辺小学校 3年 中山 道大



理科の授業で風やゴムの働きを調べて、風船の空気が出る仕組みを使って、車を進ませることができないかと思って作りました。風船に空気を入れて走らせると1m10cm進みました。

「ぐるぐる海ぞく船」

神辺小学校 3年 金平 晴生



船が好きで、牛乳パックと輪ゴムを使って海賊船を作りました。帆を動かせるように作ることやゴムを牛乳パックの小さな穴に通すことが難しかったです。

「ひみつきち」

神辺小学校 3年 小林 美羽



わりばしとアイスの棒を使って、自分だけのひみつきちを作りました。壁を一つ一つ交互に張り付けたところが工夫したところです。芝生に動物も作り、こんなひみつきちがあったらいいなという願いをこめて作りました。

「マグネット」

神辺小学校 3年 前田 孝誠



接着剤と磁石を使って、オリジナルのマグネットを作りました。レゴブロックやビー玉、ビンのキャップなど、身近にあったものを使って作りました。ビー玉のマグネットがきらきらと光って一番のお気に入りです。使うのが楽しみです。

「果物かご」

神辺小学校 4年 石川 美伽



わたしは、果物が大好きです。異常気象で災害が増え、せっかくできた果物が木から落ちてしまったというニュースを聞くと悲しくなります。夏休みに心を込めて、果物を作ってみました。綿を包んで果物の形にするのが難しかったけど、よくできたので部屋において眺めたいです。

「海中水族館」

神辺小学校 4年 國廣 陽向



得意な折り紙で、海中に住む生物をたくさん折りました。魚やエビが潜水艦の中にある水族館で泳いでいます。ズワイガニの足や爪も細かく切って本物みたいにしました。魚の模様も細かくかきました。いろんな人に魚のことを知ってほしいです。

「めがねの研究」

神辺小学校 4年 佐々木 光太郎

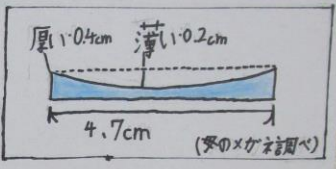
メガネの仕組み

なぜメガネをかけるとぼやけがなくなる? 4年2組 佐々木光太郎

よそう①
金属のような特別なレンズでできている。目のあるさに合わせて、その特別なレンズの厚さをかえている。

石研究のしかた②
かんさつして疑問を作りそれを本に考察したり信用べたりする。

観察の結果③
・すべすべしてはないが、ヌルヌルしてはいない
・まん中のほうがへこんでいる
・くなんでへこんでいるのか?

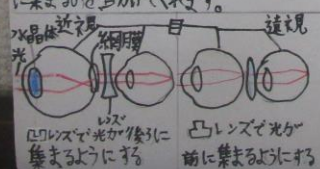


「へこみ」にひみつがある
「言葉」を調べてみると...

形にしみつがかった色覚補目カ

世界のいろいろなメガネ

色弱や色盲の人を補助目かしてきます。
① 色弱や色盲の人を補助目かしてきます。
② 木でできたメガネ
ドイツのブラントが作った木製メガネは100%天然木を使用したフレームのメガネです。日本ではメガネを使用したメガネはあまりありません。
③ 世界一古いメガネ
18カラットの金を使用した眼鏡は、最も高価と言われます。18カラットの金を使用した眼鏡は、最も高価と言われます。ドイツのブラントが作った木製メガネは100%天然木を使用したフレームのメガネです。日本ではメガネを使用したメガネはあまりありません。

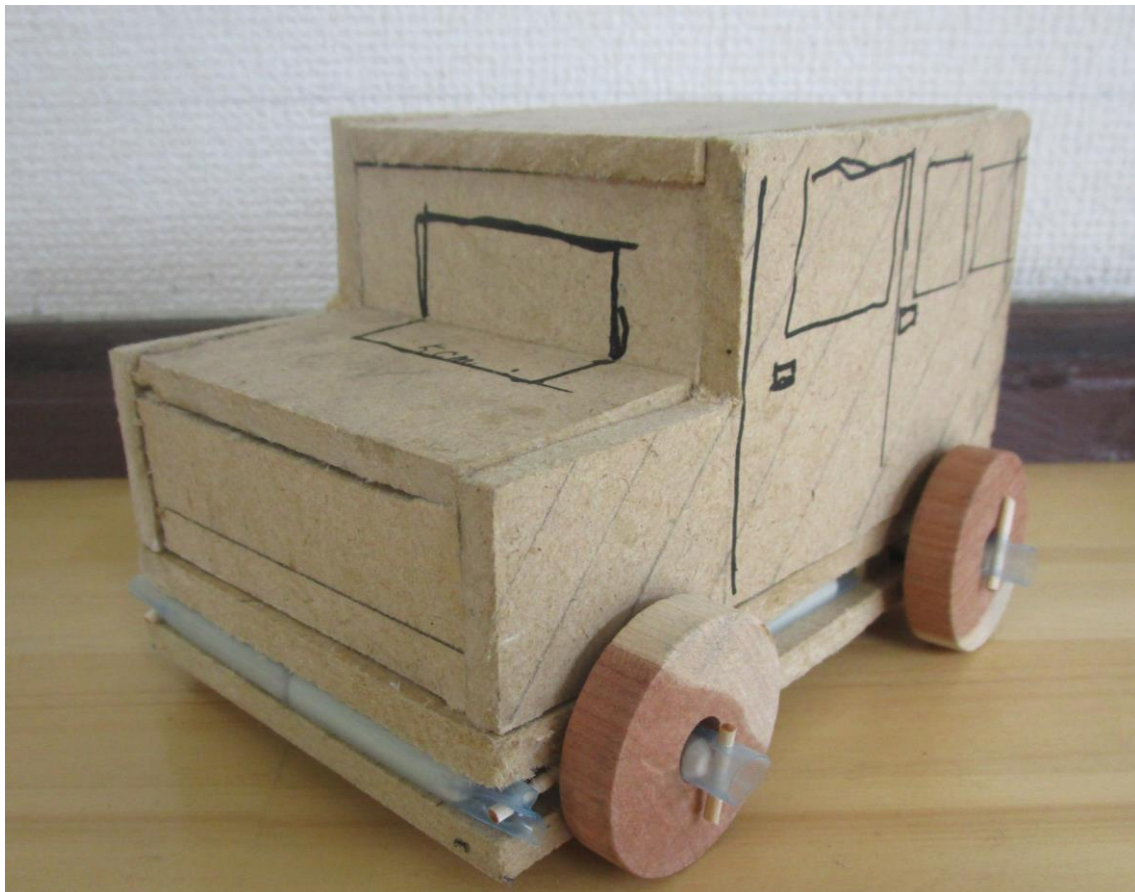


2021/

たった一枚のレンズで、こんなに度が変わるのが不思議だと思ったので調べました。いざ調べてみると資料が少なかったもので、大変でした。お母さんのレンズと自分のレンズを比較して、何が違うのかを観察しました。

「木の車」

神辺小学校 4年 佐藤 悠紀



のこぎりで木を切るのが難しかったです。工夫したことは、車輪を回すためにストローとつまようじを付けたところです。

「刀」

神辺小学校 4年 中村 颯汰



模様をかくことを頑張りました。白いところがないように、最後まで
ていねいに塗りました。

「夏休みリレー」

神辺小学校 4年 黒澤 咲稀



折り紙を折って飾りつけをしたり，画用紙を使って貼り付けたりしているのが楽しかったです。途中でビー玉が落ちたので、落ちないようにガードレールをつけたことが工夫です。

「ぷるぷるせっけん」

神辺小学校 4年 島田 芽依



ゼラチン・お湯・石鹼水を、石鹼が泡立たないようにゆっくりと混ぜました。型から取り出すときに、割れないように気を付けました。

「いす」

神辺小学校 4年 世良 琴音



のこぎりで木を真っ直ぐに切ることと、電動ドリルでねじを打ち込んだことが大変でした。ペンキを塗るのがすごく楽しかったです。出来たときの達成感がとてもありました。

「・花のおどり ・コップの中身 ・貝の祭り
・貝がらの願い」

神辺小学校 4年 成川 葵



海をイメージして貝殻を入れました。ハーバリウムを作るときは、手がベタベタして難しかったです。貝殻や花を入れる位置も工夫しました。

「木の時計」

神辺小学校 4年 鈴木 美海



木に色をつけることを頑張りました。特に、小さい家に色をつけることを頑張りました。

「町をおそうドラゴン」

神辺小学校 4年 田邊 昊



ドラゴンの体を紙で、うろこのように表現しました。難しかったところは、歯の間を青色の紙で表現したところです。

「身の回りで見つけたSDGs」

神辺小学校 5年 松山 葉月



「総合的な学習の時間」にSDGsについて学んだことから、くらしの中でどのように取り組まれているのか調べました。多くの企業がSDGsの取組を行っていることを知り、私自身も地球にやさしい商品を買っていこうと考えました。

「どうして牛乳がヨーグルトになったの？」

神辺小学校 5年 殿迫 優華

? どうして牛乳がヨーグルトになったの?

調べたきっかけ
学校のヨーグルトを食べている時に、「どうして牛乳がヨーグルトになったのかな。乳酸菌がはたらくとどんな良いことがあるのかな。」と不思議に思ったからです。

調べ方
私は、2つの方法で調べました。1つ目は本です、2つ目はタブレットです。本だけではなく他の物を使って色々な事が分かるようにしたいと思いました。

<調べて分かったこと>
どうして牛乳がヨーグルトになったのかというと...
牛乳に混ぜたヨーグルトの中の「乳酸菌」が働いて、「乳酸」を出して、ずばずばタンパク質が固まったからです。

乳酸菌の仲間

ヨーグルトは牛乳を発酵したもの
乳酸菌は、牛乳の中にあるものを食べて「乳酸」を出します。ヨーグルトのずばずばの味は「乳酸」のためです。この時、牛乳の中のたんぱく質(カゼイン)が固まるためドロドロとしたヨーグルトになります。

乳酸菌は体にいい!
乳酸菌が元気に働くとおなかの中の「ぜん玉菌」(食物の消化を助けたり、病気に勝つ力をもつ細菌)が活発になります。だから乳酸菌は体に良いのです。

乳酸
「乳酸」を出す

ビズ菌 **乳酸菌**

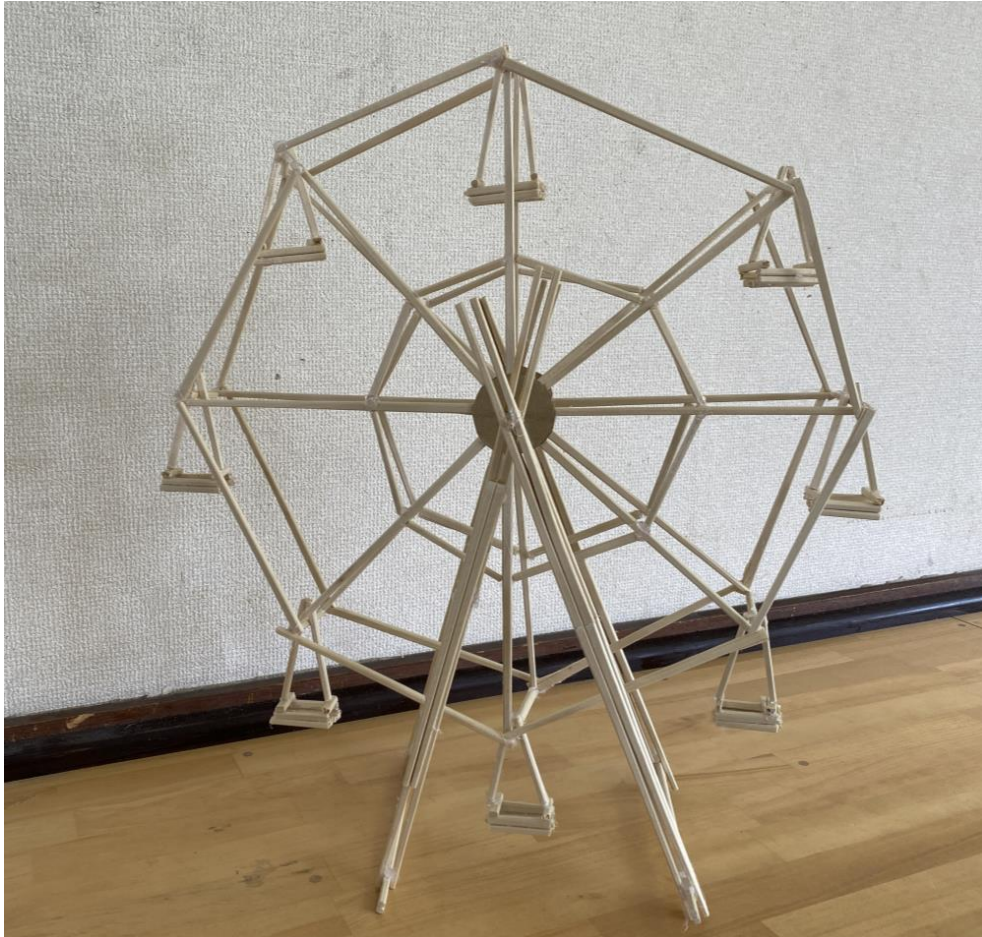
まとめ
ヨーグルトを作るのに欠かせないのは「乳酸菌」です。乳酸菌は生きているので、食べ物が必要です。牛乳の中に乳酸菌を入れると、乳酸菌は牛乳の中の「えい」を食べて「乳酸」を作り出します。こうして牛乳は、ゆるくて固まったヨーグルトになります。

参考 楽しい!おいしい!クッキングで自由研究 尾山好美/神みよ子
牛乳はどうやってヨーグルトになるの? (2018年9月28日)

給食のヨーグルトを食べている時に「どうして牛乳がヨーグルトになったのかな。」「乳酸菌が働くとどんな良いことがあるのかな。」と不思議に思って調べました。

「観覧車」

神辺小学校 6年 下宮 蓮世



割り箸を使って、観覧車をつくりました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で行くことができなかった遊園地のことを考えている時に、身近なもので観覧車をつくってみようと思いつきました。ゴンドラの部分をつくる時には、割り箸を小さく切らなければならなかったのが、大変でした。来年は、コロナが収まって、本物の観覧車に乗りたいです。

「かっこいい Tool box」

神辺小学校 6年 梶尾 迅里



木で作った Tool box に絵を描きました。夏休みの間に見たアニメ「宇宙戦艦ヤマト」がとても気に入り、それを描きました。ヤマトの向きを考えて描くのが難しかったですが、色を塗って完成した時は、嬉しかったです。何を入れようかなあ。

「おきなわシーサー守り神様」

神辺小学校 6年 源田 諒



紙粘土を使って守り神のシーサーを作りました。口の中をチラシのお肉で作ったり、ひもを通して吊り下げられるようにしたりして工夫しました。細かいところを作るのが大変だったけど、頑張って作ることができました。

「幽霊船」

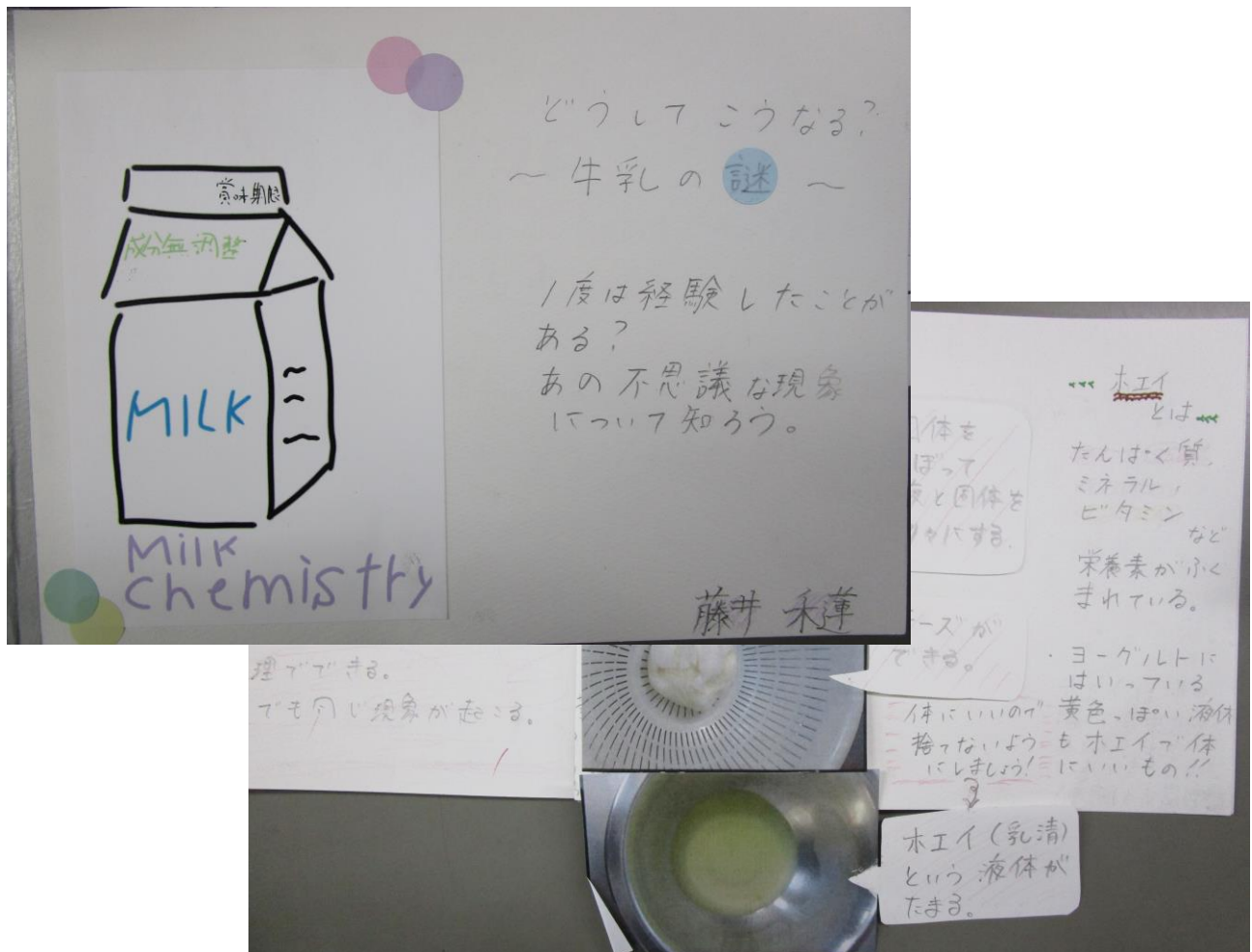
神辺小学校 6年 小林 悠雅



割り箸を使って，大好きなアニメに出てくる船をつくりました。船の形に合わせて割り箸の長さを調整したり，隙間ができないようにボンドで着けたりするのに苦労しました。

「どうしてこうなる?～牛乳の謎～」

神辺小学校 6年 藤井 禾蓮



普段、生活をしていて不思議に思ったことについて調べました。実験をしたことによって、すぐにインターネットを使って答えを知るのではなく、実際に自分で試行錯誤をして考えながら答えを導くことに意味があることに気づくことができました。

「世界の絶景調べ」

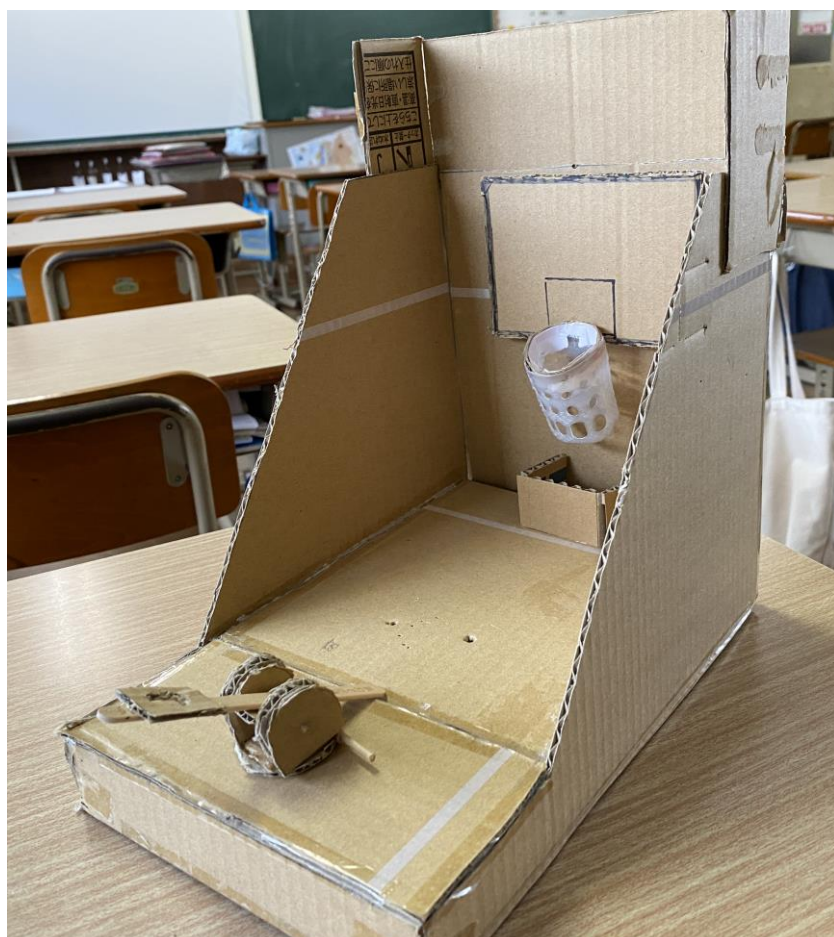
神辺小学校 6年 福本 莉帆



世界の美しい風景について調べました。母と「今年の夏休みにはどこにも行けないね。」と話していたとき、世界の有名な場所を調べてみようと思いました。今まで知らなかった場所や美しい景色がたくさんあることを知り、いつか自分の目で見てみたいと思いました。

「バスケットゴール」

神辺小学校 6年 松村 麗



私は、段ボールを使って、バスケットゴールゲームをつくりました。ゴムやアイスの棒を使って、ボールを飛ばせるように工夫しました。ゴールネットもボンドを固めて作りしました。他にも身の回りの物を使っていろいろなものを作りたいと思います。